

【LINE Pay】若年女性に人気のカードデザイン「Sweet Cony」追加

2016.08.16 Fintech関連サービス

LINE Pay カード申込者は10代が46%、決済場所はコンビニやオンラインショッピング

LINE Pay株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：舛田 淳）は、LINEユーザーのためのお得なプリペイドカード「LINE Pay カード」の新デザインとして、カードお申込みユーザーの割合が高い10～20代女性に人気のデザイン「Sweet Cony」のお申込み受付を2016年8月16日(火)より開始したことをお知らせいたします。

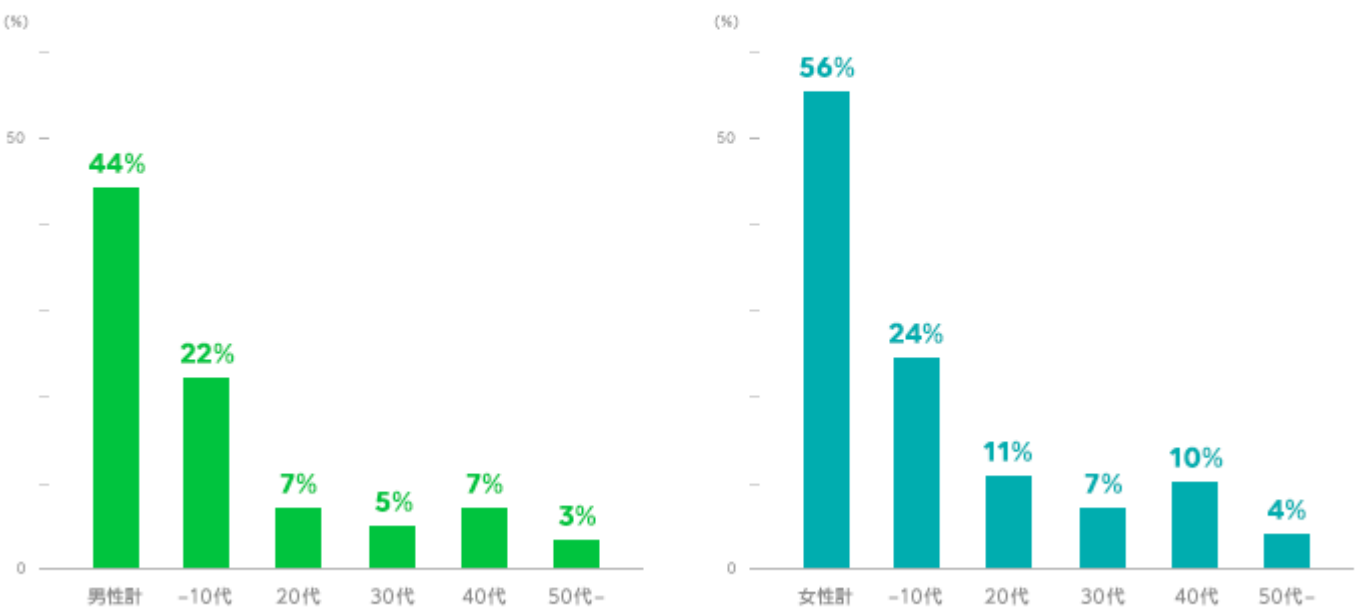


「LINE Pay カード」は、株式会社ジェーシービーとの協業により発行されるプリペイドカードです。LINE Payにチャージされた残高を国内・海外約3,100万店のJCB加盟店※での決済に利用いただけます。また、ご利用特典として決済金額の2%分（100円につき2ポイント）の「LINE ポイント」が貯まります。貯めたポイントは1ポイント1円として、LINEの各種サービスでご利用いただけるほか、1,000ポイント以上でご自身のLINE Pay残高に電子マネーとして交換することもできます。また、クレジットカードと異なり申込時の与信審査や年齢制限がなく、LINEユーザーならどなたでもLINEアプリ内でお申込みが可能です。

※：取扱店契約数（ジェーシービー社事業における各決済手段の取扱店数の合計数） 国内：約1,000万件、海外：約2,100万件 （2016年3月末時点）

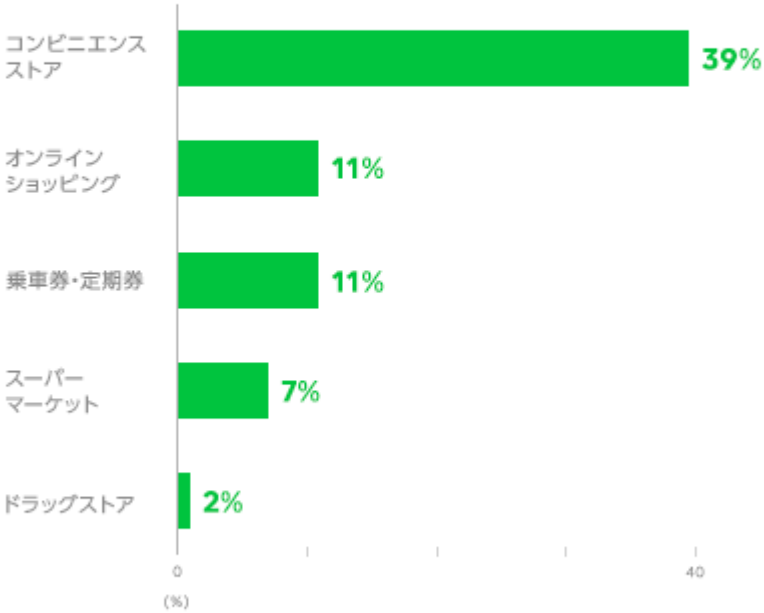
今回追加する新デザイン「Sweet Cony」は、複数のデザイン案を用意して行ったアンケート調査で10代女性に圧倒的に人気が高かったデザインです。女性に人気の高いピンクの背景に、LINE フレンズの人気キャラクターであるコニー（Cony）と、イチゴ、ハートが散りばめられています。

年代別/性別 申込者構成比



LINE株式会社が開発したターゲティングエンジンの推計データ（2016年7月25日現在）によると、LINE Pay カードをお申込みいただいた方の年齢層は10代（男女計）が全体の46%を占め最多でした。年代が若くなるほどユーザーが多く、また全年代において男性よりも女性のユーザー数が多い傾向です。年代別・性別では、10代女性が24%を占め最も多くのユーザーがいることがわかりました。

LINE Pay カードの利用が多い業種 TOP5



LINE Pay カードの利用が多い業種トップ3は、「コンビニエンスストア」、「オンラインショッピング」、「乗車券・定期券」です。高額決済の多いクレジットカードや、利用目的が限定された使い切りのプリペイドカードと異なり、LINE Pay カードが日常的な決済手段として利用されています。

新デザイン「Sweet Cony」の受付開始を記念して、本日11時から8月23日（火）11時までの1週間に新規でLINE Pay カードをお申込みの方全員に、LINEクリエイターズスタンプ2セット分のLINEポイント（240ポイント）をプレゼントいたします。また、早期お申込み特典として2016年8月16日（火）～18日（木）の3日間に新規お申込みの方には、更にLINE Pay残高200円分をプレゼント（8月下旬付与予定）いたします。

LINEは、お金の流通で生じる時間や手間、手数料など様々な摩擦をゼロにし、人とお金・サービスの距離を近くします。将来のキャッシュレス・ウォレットレス社会を見据え、モバイルフィンテックの世界をリードする存在になることを目指してまいります。
